

京都大学教育研究振興財団助成事業  
成 果 報 告 書

平成28 年6月22日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団  
会 長 辻 井 昭 雄 様

所属部局・研究科 農学研究科・農学専攻

職 名・学 年 准教授

氏 名 丸 山 伸 之

助 成 の 種 類	平成28年度 ・ 国際研究集会発表助成／一般		
研 究 集 会 名	欧州アレルギー学会 2016年度 年会		
発 表 題 目	ソバアレルギーの臨床診断に有効なアレルギーコンポーネントの同定		
開 催 場 所	オーストリア・ウィーン		
渡 航 期 間	平成28年6月11日 ～ 平成28年6月16日		
成 果 の 概 要	タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版2000字程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( )		
会 計 報 告	交付を受けた助成金額	300,000 円	
	使用した助成金額	300,000 円	
	返納すべき助成金額	0 円	
	助 成 金 の 使 途 内 訳	渡航費	203,040 円
		学会参加費	54,400 円
宿泊費の一部		42,560 円	
当財団の助成について	(今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。) 採択後、迅速にご対応くださりありがとうございました。		

## 成果の概要

農学研究科  
准教授 丸山伸之

### 【学術集会の概要】

学会名：2016年欧州アレルギー学会年会（EAACI2016）

主催者：欧州アレルギー学会

場所：オーストリア ウィーン

会期：2016年6月11日－6月16日

次回開催予定 ヘルシンキ 2017年

### 【本国際会議の概要】

今回、本助成を受けて平成28年6月11日から14日にかけてオーストリア ウィーンにて開催された欧州アレルギー学会2016年会に参加した。欧州アレルギー学会における年会は、米国アレルギー学会の年会とともに、世界中の主要なアレルギー分野の関係者が参加する国際学会会議である。本年は、ちょうど欧州アレルギー学会の60周年にあたり、celebrationの雰囲気とともに中心部に近いメッセを会場に開催された。また、音楽の街ウィーンでの開催ということもあり、年会をボールルームダンスにたとえ、参加者の知識を持ち寄り、分かち合う、Waltzing with Allergensをテーマとして行われた。非常に規模の大きい年会であるので、6のPlenary symposia、56のSymposia、1,800を超える演題が発表された。また、同時に様々なワークショップや多数の企業展示も行われた。

### 【講演概要】

申し込まれた演題は、事務局によって、ポスター、ポスターディスカッション、オーラルの3種類に振り分けられるが、筆者らの演題はオーラル発表に採択していただいた。Molecular allergology: Methods and clinical utilityのSessionであり、座長はこの分野で著名なドイツのKleine-Tebbe博士らであった。本講演において、重篤なアレルギー症状を起こすことが知られるソバアレルギーの原因となるタンパク質について報告するとともに、その知見を活用したソバアレルギーについての新規な臨床診断法について提唱した。ソバアレルギーは、日本及び韓国での報告が多いが、最近では欧米での消費量が増えており、欧米の様々な国々から症例報告も増えている。そのため、本講演の内容は臨床面からも非常に重要な重要であり、多くの研究者に着目されていると感じた。また、発表後、筆者のPresentationについてKleine-Tebbe博士から褒めていただき、非常に良い講演機会をいただいたと思う。また、筆者の研究と関連する国内外の研究者と共同研究に関して直接打ち合わせを行うことができたことも、本学会に出席した重要な成果と考えている。Symposiaとして地元ウィーン大学のValenta博士らによるアレルギーに関する講演などを多数拝聴することができた。本領域の最新の動向を知ることができたことも含めて、本学会への参加は実り多いものとなった。

【謝辞】 公益財団法人京都大学教育研究振興財団に助成いただくことで、今回の国際学会会議に参加・発表することができた。選考委員の先生方に心より感謝申し上げます。また、採択から、渡航まで日が少ない中で、迅速に処理くださいました財団事務局の方々に厚く御礼申し上げます。